

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	国語科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		東京書籍
教科書名		新編 新しい（あたらしい）国語
調査 研究 の 項目	A 内容の選択	<p>○単元のポイントについて、キャラクターのつぶやきや会話で説明する形になっていて、分かりやすく、基礎的な内容が習得しやすい。</p> <p>○説明文であれば、①読み取る②読み比べる③情報活用④考えを広げ、深めるの4つの系統性があり、身に付ける力が明確になっている。</p> <p>○単元ごとに既習事項を生かした発展のページがあり、主体的な学びを促す内容となっている。</p>
	B 構成・分量	<p>○各領域の単元を、「見通す」「取り組む」「振り返る」の3ステップの学習過程で構成し、これから何をどのように学習するかが分かりやすい。</p> <p>○巻末に「言葉の力のつながり」が掲載され、3年生以上では、前学年との系統性を一覧で見られる。また、目次の後には「言葉の力を集めよう」のページを設けており、1年を通じて「読む」「話す・聞く」「書く」で、どのような言葉の力をつけるかを明確に示している。</p> <p>○「本はともだち」のページにより、絵本への興味につながるような構成になっている。</p>
	C 表使用・上表の現便及び宜	<p>○枠囲みで色がついていたり、文字の太さやフォントが違っていたり、見やすいような配慮がされている。</p> <p>○1年生にとって習得が難しい特殊音節（促音、長音、拗音）や助詞の学習で確実に習得させるために、特別支援教育で生かされている「多層指導モデルMIM」の指導法が取り入れられている。</p> <p>MIM 例) ①音を出す ②音を視覚化する ③音を動作化する ④音と文字を対応させる</p>
	D その他	<p>○6年生ではSDGsについて協働的に調べ、編集し、発信する活動を設定している。</p>

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	国語科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		教育出版
教科書名		ひろがる言葉（ことば） 小学国語
調査 ・ 研究 の 項目	A 内容の 選択	<p>○読む能力を育成する上で、単元の第一ページ「単元扉」には、大きな挿絵や写真が掲載されている。それが短いリード文とともに「どんな話なのか」という想像をかき立てられ、学習意欲を高める一助となっており、単元の世界とのわくわくする出会いとなっている。</p> <p>○「話す・聞く」単元において、役割や話し合いの進め方が実際の会話文形式で掲載されており、どのように学習を進めるか、分かりやすい内容となっている。</p>
	B 構成・ 分量	<p>○各教材の後のページに学習の手引きがあり、「言葉」で特に着目させたい叙述を取り上げ、「ここが大事」のコーナーでは、教材の中で特にどの部分にウェイトを置いて考えさせたり話し合わせたりすればよいか分かりやすく示されている。</p> <p>○単元の全体を見通す「見通しをもとう」と称するコーナーがあり、学習する内容の流れが見開きで分かりやすい構成となっている。（確かめよう・詳しく読もう・まとめよう・伝え合おうなど）</p> <p>○フォントが他社に比べて細めであるので、必要に応じてサイドラインやふりがな、気付き等が書き込みやすくなっている。</p>
	C 表使用・ 上表の 現便 及び宜	<p>○色彩豊かなイラストが多用されており、学習活動の具体像や物語の情景が捉えやすいように工夫されている。</p> <p>○物語文の1ページ目に、教材の内容にかかわる導入の問いかけ文が記載されており、児童が物語の世界に没入しやすいような工夫がされている。</p>
	D その他	<p>○上・下巻に分冊されているため、1巻あたりが薄く、軽いため、毎日の持ち運びに負担にならない。</p>

令和 5 年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	国語科	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	-----	------------	-------

教科書発行者（会社）名		光村図書出版
教科書名		1 上かざぐるま、1 下ともだち、2 上たんぼぼ 2 下赤とんぼ 3 上わかば、3 下あおぞら、4 上かがやき、4 下はばたき 5 銀河 6 創造
調 査 ・ 研 究 の 項 目	A 内容の選 択	<p>○2～4年上巻と5・6年の巻末に「SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けて」として発達段階に応じた図書を紹介しており、発展学習に繋がられる。</p> <p>○目次と本編の間に「国語の学びを見わたそう」という内容が示されている。これにより、現学年の学習の進め方と前学年までの既習内容が並列で書かれていることから、今までの振り返りをしながら今後の学習に系統性をもって学習を積み重ねていくことができる。</p> <p>○「話す聞く」単元では、その時期の児童にとって身近な題材や、他教科と関連している題材、関心のもてる題材を扱っている。また、目的意識をもって話したり聞いたりするための工夫がされている。</p> <p>3年：1学期（→班の友達）、2学期（→1年生へ）、3学期（→クラスへ） 4年：1学期（→インタビュー）、2学期（→話し合い）、3学期（→アンケート）</p>
	B 構成・分 量	<p>○単元ごとに、「問いをもとう」「目標」「ふりかえろう」が示されている。「問いをもとう」では、どんなことを考えていきたいか自分に「問い」をもたせ、この単元に身に付けたい「目標」につなげている。また、単元終わりには、「ふりかえろう」の自己評価欄があり、「知る」（知識・技能）、「読む」（思考・判断・表現）、「つなぐ」（主体的に学習に取り組む態度）の3点から振り返らすことができるようにしている。</p> <p>○児童一人一人の興味に沿って学習が進められるよう、課題選択を設けたり、考えるための観点を複数示したりして、「個別最適な学び」ができるよう工夫されている。</p> <p>○「言葉の宝物」「伝え合うための言葉」「学習に用いる言葉」として各学年発達段階に応じて示され、語彙力を高める工夫がされている。</p>
	C 表使 記用 ・上 表の 現便 及び宜	<p>○当該学年の教科書には、「○年生で学んだこと」「◇年生で学ぶこと」と記され、系統的な指導に生かすことができる。</p> <p>○日本語の公式な文章中では原則使用しない感嘆符（！）を使わないようにしている。正しい日本語表記に触れられるとともに、感嘆符がないことで文章中の表現から主人公の気持ちを考えながら音読を工夫することができる。</p>
	D そ の 他	<p>○全巻、裏表紙にあるQRコードから「日本語指導」が必要な児童のための多言語音声コンテンツが用意されている。</p>

令和 5 年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	国語科(書写)	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	---------	------------	-------

教科書発行者(会社)名		東京書籍
教科書名		新編 新しい(あたらしい)書写
調査 ・ 研究 の 項目	A 内容の選 択	<p>○どの学年の教科書においても、初めに「足 ぺた ぴん とん さあ 書こう」という合言葉が共通して記載されており、一貫した学習の基本の指導ができるようになっている。</p> <p>○「びたっ」「すう」などの音や、穂先のキャラクターなどで筆使いが示されていて、筆運びのイメージがわかりやすい。</p> <p>○巻末に前学年まで「書写のかぎ」(書写のポイント)が集約されており、今までの学習を振り返ることができ、以後の学習に生かせるものとなっている。</p>
	B 構成・ 分量	<p>○表紙裏のページに、「書写の学び」が記載されており、その学年で学習する内容や、小学校で学習する内容が分かりやすく、見通しがもちやすいように工夫されている。</p> <p>○毎時間の学習に「書写のかぎ」を表記されており、当該学習時間の学習ポイントを簡潔に示され、意識化して学習に取り組むことができる。</p> <p>○教科書に直接書き込めるページが多く取られている。書くことにより、学習のポイントを自身で理解して進められる。</p>
	C 表使 記用・上 表の 現便 及び宜	<p>○学習活動ごとに発問が記載されており、学習の流れを整理しやすく、児童にとって分かりやすい表記がされている。</p> <p>○目次が色分けや分類など工夫されている。</p> <p>○写真が効果的に使われていたり、指導上、児童に意識させるポイントを色や印などで示していたりしてわかりやすくなっている。</p>
	D その 他	

令和 5 年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	国語科(書写)	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	---------	------------	-------

教科書発行者(会社)名		教育出版
教科書名		小学(しょうがく)書写(しょしゃ)
調査 ・ 研究 の 項目	A 内容の 選択	<p>○「点画の筆使い」「文字の組み立て方」「文字の大きさ、配列」「点画のつながり」などが具体的に書かれており、系統的に学ぶことができる。</p> <p>○3年生の教科書において、毛筆を学習する意味がマンガで記載されており、児童が必要感をもって毛筆の学習に取り組めるように工夫されている。</p> <p>○1年生の硬筆では左利きの児童への鉛筆の持ち方や用具の置き方を示し、「個別最適の学び」に配慮している。4年生の毛筆については「まなびリンク(動画)」を使用。</p>
	B 構成・ 分量	<p>○1年生、2年生では、毎時間の学習の「めあて」と「ふりかえろう」をりんごのマークで分かりやすく示され、児童は視覚化により意識化して学習に取り組める。</p> <p>○「すうっ」「びたっ」などオノマトペをイラストに効果的に併用して、「はらい」や「とめ」などをイメージしやすくし、書くことにつなげられるようにしている。</p> <p>○漢字・ひらがな・カタカナが、バランスよく厳選された内容が掲載されており、児童の技能・表現の定着に適切な分量となっている。</p>
	C 表使用・ 上表の 現便 及び宜	<p>○右ページに教材文字、左ページに「めあて」「考えよう」「ここが大切」などのポイントが分かれて書かれ、分かりやすい紙面構成になっている。</p> <p>○擬人化された動物や、男の子・女の子のイラストが、学習のポイント等を発言する表現が多用されており、児童の学習の手助けとなる。</p> <p>○目次項目に、「○年生で学習すること」、「他の学習や生活の中で生かそう」が一目で分かる工夫がされている。</p>
	D その他	

令和5年度 教科書調査・研究資料

校種 小学校	種目等	国語科(書写)	採択資料作成会議座長	石田 玲奈
--------	-----	---------	------------	-------

教科書発行者(会社)名		光村図書出版
教科書名		書写(しょしゃ)
調査研究の項目	A 内容の選択	<p>○硬筆書写で扱っている文章は、同社の「国語」と連動した内容を扱っており、時期も合っているので、国語も同社になった場合は、書写と横断的に指導しやすい。</p> <p>○書くポイントのイメージを持ちやすいよう、声に出して読むポイントが書かれていたり、「止め」「はね」「はらい」などをキャラクターの絵で表現したりしており、視覚的にもとらえやすいよう工夫がなされている。</p> <p>○体をほぐしながら気持ちを書写に向ける「しょしゃ たいそう」という体操がイラスト付きで掲載されており、特に低学年の児童に指導する際に有効である。</p>
	B 構成・分量	<p>○1ページ当たりの構成が精選されている。文字数も比較的になく、書写の重点とするところをクローズアップしており、児童にもたせるポイントを明確化しやすく、取り組みやすい。</p> <p>○毎時間の「学習の進め方」が明記されている。「考えよう」→「確かめよう」→「生かそう」といった構成となっており、導入の「考えよう」(問い)で児童自身が意識化した点を学習に取り組みさせる構成となっている。</p> <p>○毛筆を硬筆に活かし、日常生活でも整った文字を書いていくことを意識させる構成となっている。</p>
	C 表使用・上表の現便及び宜	<p>○QRコードの動画には、右利き用左利き用も用意されている。</p> <p>○写真に写っている児童は、男子・女子・外国人児童など多様性に配慮し、掲載されている。</p> <p>○見開きで、右ページに「ポイント確認」(①めあて、②考えよう、③ここが大切④生かそう、⑤ふり返ろう、⑥広げよう)左ページで「文字をじっくり見る」ようになっており、文字の下に「中心点」も示され文字の中心が分かりやすくなっている。</p>
	D その他	<p>○学習指導書の付属として、半紙手本や名前の手本が教科書教材と同様の文字で作成できる。</p> <p>○別冊で、書写スタートブック(1年)、毛筆スタートブック(3年)を用意し、書写の基本を指導できるようにしている。</p>